

土佐塾中学・高等学校
保護者、生徒の皆さまへ

校長 山崎 澄夫

北朝鮮による弾道ミサイル発射に係る本校の対応について

標題の件に関しては、8月29日付文書にて本校の想定等をお知らせしておりますが、昨日、県（私学・大学支援課）からも、再度徹底するようとの指示と、新たな情報を頂きましたので、高知県教育委員会の県立学校への通知に準ずるよう、本校でも下記のように対応いたします。いかなる場合でも、安全を最優先した判断をいたします。ご家庭でも情報の収集と緊急時の行動についてご配慮ください。

記

1 Jアラートが鳴った時の生徒・教職員の対応

- 平成29年4月21日付け消防運第38号、消防運第24号「弾道ミサイル落下時の行動等について」に基づき、各自が身を守るための避難行動をとる。
 - ※ 別紙1（概要を裏面に掲載し、実物は本校ホームページに掲載）及び国民保護ポータルサイト（<http://www.kokuminhogo.go.jp/>）を参照
- 万が一、落下物らしき物を発見した場合には、決して近寄らず、警察や消防等に通報する。

2 ミサイルが発射された時の学校運営についての基本的な考え方

(1) Jアラートが鳴った場合（高知県がミサイル飛行エリアの影響内にある場合）※別紙2（裏面）参照

- ① ミサイルが通過、または日本の領海外の海域に落下した場合は、通常の学校教育活動を実施
 - 第1報で、「ミサイル発射情報・避難の呼び掛け」があれば、すぐに避難行動をとり、安全を確保する。
 - 第2報で、「ミサイル通過」または「〇〇海に落下（日本の領海外の海域）」との情報が流れた場合には、通常の学校教育活動を行う。
- ② ミサイルが日本の領土・領海に落下した場合は、通常の学校教育活動を停止
 - 第1報で、「ミサイル発射情報・避難の呼び掛け」があれば、すぐに避難行動をとり、安全を確保する。
 - 第2報で「ミサイル落下の可能性情報・直ちに避難の呼び掛け」があれば、引き続き安全を確保する。
 - 第3報で日本のいずれかの地域（日本の領土・領海）に落下したとの情報があった場合には、通常の学校教育活動を停止する。以後、続報に留意する。
 - ・ 始業時間前に発生した場合は、臨時休業（臨時休校）とする。
 - ・ 学校教育活動中（授業や部活動中など）に発生した場合には、直ちに活動を中止し、安全を確保する。下校等については、学校長が県（私学・大学支援課）と協議し、判断する。
 - その後の学校教育活動の再開については、学校長が県（私学・大学支援課）と協議し、判断する。

(2) Jアラートが鳴らなかった場合（高知県がミサイル飛行エリアの影響外にある場合）

- ① 通常の学校教育活動を行う。
- ② 日本の領土・領海に落下した場合には、国の動向等を踏まえ、学校長が県（私学・大学支援課）と協議し、判断する。

以上

(注) 裏面には、別紙2、および、別紙1の概要を掲載。別紙1は本校ホームページに全体を掲載。

別紙1 に掲載の文言は、次の通りです。全体は、本校ホームページに掲載しています。

弾道ミサイル落下時の行動について

弾道ミサイルは、発射から極めて短時間で着弾します。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合には、Jアラートを活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

- ①速やかな避難行動 ②正確かつ迅速な情報収集

行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください。

メッセージが流れたら（例：直ちに避難。直ちに避難。屋内に避難してください。ミサイルの一部が落下する可能性があります。屋内に避難してください。）落ち着いて、直ちに行動してください。

屋外にいる場合 できる限り頑丈な建物や地下街などに避難する。

建物がない場合 物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。

屋内にいる場合 窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

☆近くにミサイル落下☆ 屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。 屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

別紙2

全国瞬時警報システム(Jアラート)について

北朝鮮から発射された弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合における、Jアラートによる情報伝達のメッセージ

(1)日本の領土・領海の
上空を通過した場合

①ミサイル発射情報
避難の呼び掛け

ミサイル発射。ミサイル発射。
北朝鮮からミサイルが発射され
た模様です。
建物の中、又は地下に避難し
てください。

②通過情報

ミサイル通過。ミサイル通過。
先程のミサイルは、〇〇地方
から〇〇へ通過した模様です。
不審な物を発見した場合には、
決して近寄らず、直ちに警察や
消防などに連絡してください。

(2)日本の領海外の海域に
落下した場合

①ミサイル発射情報
避難の呼び掛け

ミサイル発射。ミサイル発射。
北朝鮮からミサイルが発射され
た模様です。
建物の中、又は地下に避難し
てください。

②落下推定情報
(日本の領海外の海域に落下)

先程のミサイルは、〇〇海に落
下した模様です。
不審な物を発見した場合には、
決して近寄らず、直ちに警察や
消防などに連絡してください。

(3)日本の領土・領海に落下
する可能性がある
と判断した場合

①ミサイル発射情報
避難の呼び掛け

ミサイル発射。ミサイル発射。
北朝鮮からミサイルが発射され
た模様です。
建物の中、又は地下に避難し
てください。

②落下の可能性情報
直ちに避難の呼び掛け

直ちに避難。直ちに避難。
直ちに建物の中、又は地下に
避難してください。
ミサイルが落下する可能性が
あります。
直ちに避難してください。

③落下推定情報
(日本の領土・領海に落下)

ミサイル落下。ミサイル落下。
ミサイルが〇〇地方に落下し
た可能性があります。
続報を伝達しますので、引き続
き屋内に避難してください。

◎高知県においてJアラートが鳴る時は、中国・四国・九州(沖縄県を除く)地方の上空にミサイルが飛来する可能性がある場合です。



弾道ミサイル落下時の 行動について

弾道ミサイルは、発射から極めて短時間で着弾します。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、Jアラートを活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

①速やかな避難行動

②正確かつ迅速な情報収集

行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください。



国民保護ポータルサイト
武力攻撃やテロなどから身を守るために



事前に確認しておきましょう。
http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryou/hogo_manual.html

…… ミサイル落下時には、こちらから政府の対応状況をご覧になれます ……



首相官邸
ホームページ
www.kantei.go.jp/



Twitterアカウント
首相官邸災害・危機管理情報
@Kantei_Saigai



(例)直ちに避難。直ちに避難。屋内に避難してください。
ミサイルの一部が落下する可能性があります。
屋内に避難してください。

メッセージが流れたら

落ち着いて、直ちに行動してください。

屋外に
いる場合

できる限り頑丈な建物や
地下街などに避難する。

建物が
ない場合

物陰に身を隠すか、
地面に伏せて頭部を守る。

屋内に
いる場合

窓から離れるか、
窓のない部屋に移動する。

近くに
ミサイル
落下!

●屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。

●屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。